

(参考分析)

【構造編コラム3】スーパーの売場面積階級別の価格分布状況

小売物価統計調査は、調査品目ごとに、指定された価格調査地区から、調査員が代表的な店舗を選んで調査を行っています。選ばれた店舗については、従業者数や店舗の形態(スーパー、量販専門店など)、売場面積等の情報を把握するとともに、それらの情報を価格報告者台帳として取りまとめています。

ここでは、同台帳の情報をを用いて集計した、スーパーの売場面積階級別の価格分布の状況について紹介します。

集計の概要

2018年(平成30年)に調査を行った店舗の売場面積情報を利用して、スーパーの売場面積階級別に価格分布に係る各統計量について集計を行いました。

今回は、店舗形態の違いによる価格への影響を除くため、調査店舗の店舗形態のうち最も割合が大きいスーパーに限定することとしました。また、品質の違いによる価格への影響を除くため、特定の商品に限定して調査している品目の中から、「マヨネーズ」(キューピー「キューピーマヨネーズ」450g入り)を選びました。

結果の概要

スーパーの売場面積階級別に、調査によって得られた価格を低い方から並べて求めた10%点、25%点、50%点、75%点及び90%点の価格を比較しました。すると、全ての%点において、売場面積階級が大きくなるほど価格が低くなるという傾向がみえてきます。

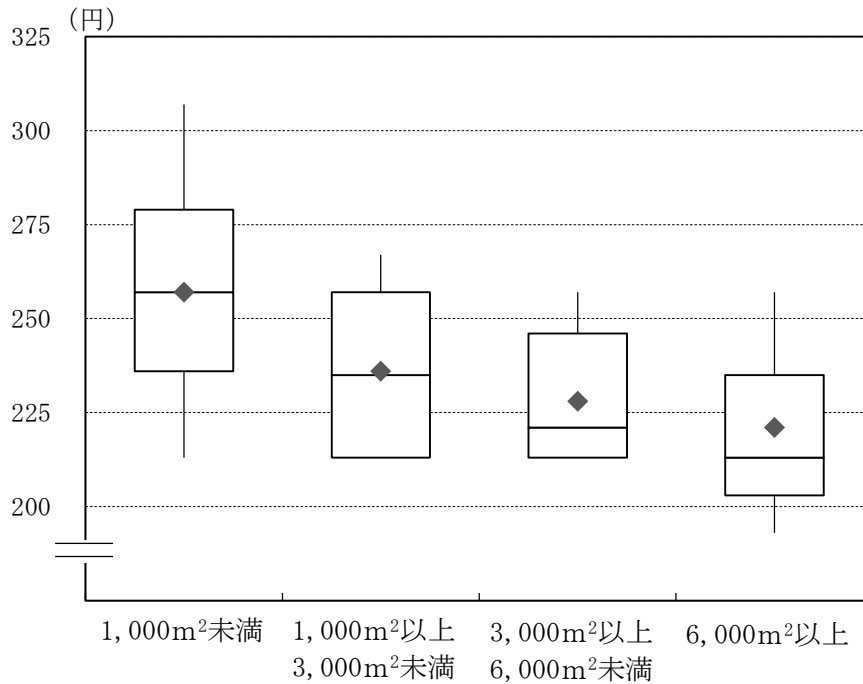
また、四分位範囲によって価格の広がり进行比较すると、売場面積3,000㎡未満と比べて3,000㎡以上の方が価格の広がり小さいことが分かります。

(表1, 図1)

表1 スーパーの売場面積階級別の価格分布に関する統計量

	1,000㎡ 未満	1,000～ 3,000㎡	3,000～ 6,000㎡	6,000㎡ 以上
価格数	382	805	192	1,032
平均価格(円)	257	236	228	221
90%点(円)	307	267	257	257
75%点(円)	279	257	246	235
50%点(円)	257	235	221	213
25%点(円)	236	213	213	203
10%点(円)	213	213	213	193
四分位範囲(円)	43	44	33	32

図1 スーパーの売場面積階級別の価格分布図



(参考) 用語の説明

・%点

データを値の低い方から並べ、低い方から数えて25%、50%、75%に当たる点を25%点、50%点、75%点といいます。25%点は第1四分位点、50%点は第2四分位点、75%点は第3四分位点ともいいます。

なお、今回の集計では、分布の全体的な状況を把握するため、10%点、90%点も求めています。

・四分位範囲

75%点（第3四分位点）と25%点（第1四分位点）との差のことです。

・価格分布図（右図）

平均価格や各%点の水準を視覚的に表したものです。価格の広がり、四分位範囲をみることで把握することができ、この範囲が小さければ価格の広がりが小さく、大きければ価格の広がりが大きいといえます。

なお、これらの点のうち、二つ又はそれ以上の点が一致することもあり得ます。

